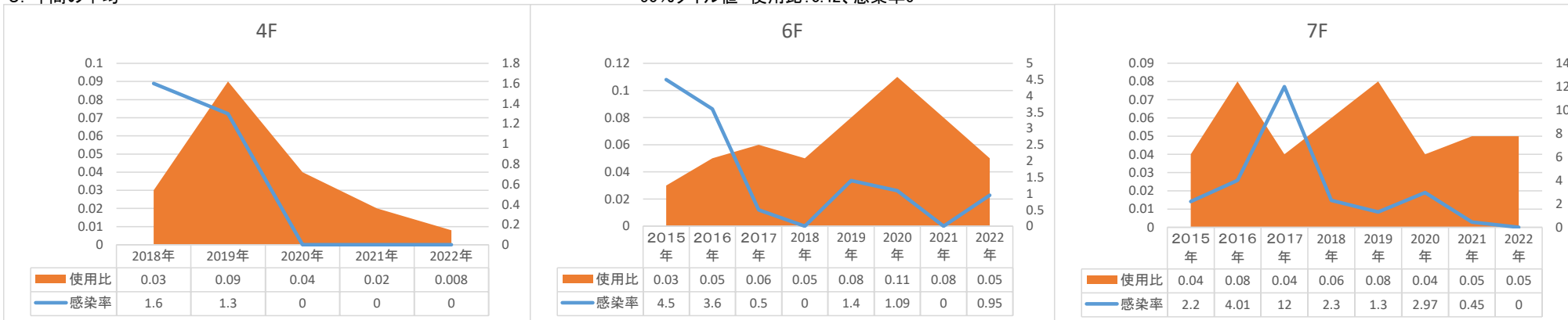


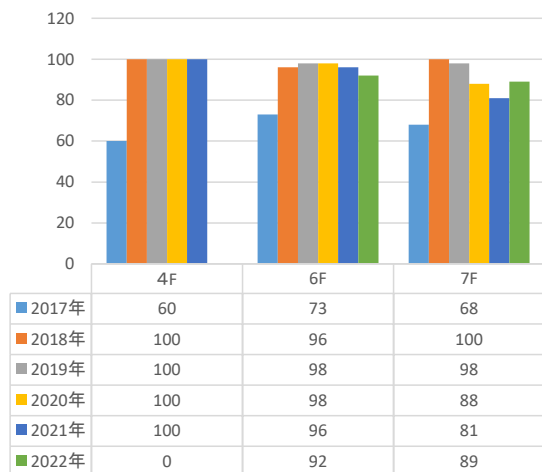
2022年中心静脈カテーテル関連感染症サーベイランス結果年間比較

1. 実施場所: 4F・6F・7F
2. 実施期間: 2011年1月～2022年12月(4Fは2018年1月～2022年12月まで)
3. 方法: サーベイランス計画書に基づき、データ収集し標準の診断基準に基づきデータを算出する
4. 計算方法: 感染率: ①感染数/デバイス使用日数×1000 ②デバイス使用比: デバイス使用日数/入院患者延べ数
5. 年間の平均
50%タイリ値 使用比: 0.42、感染率6

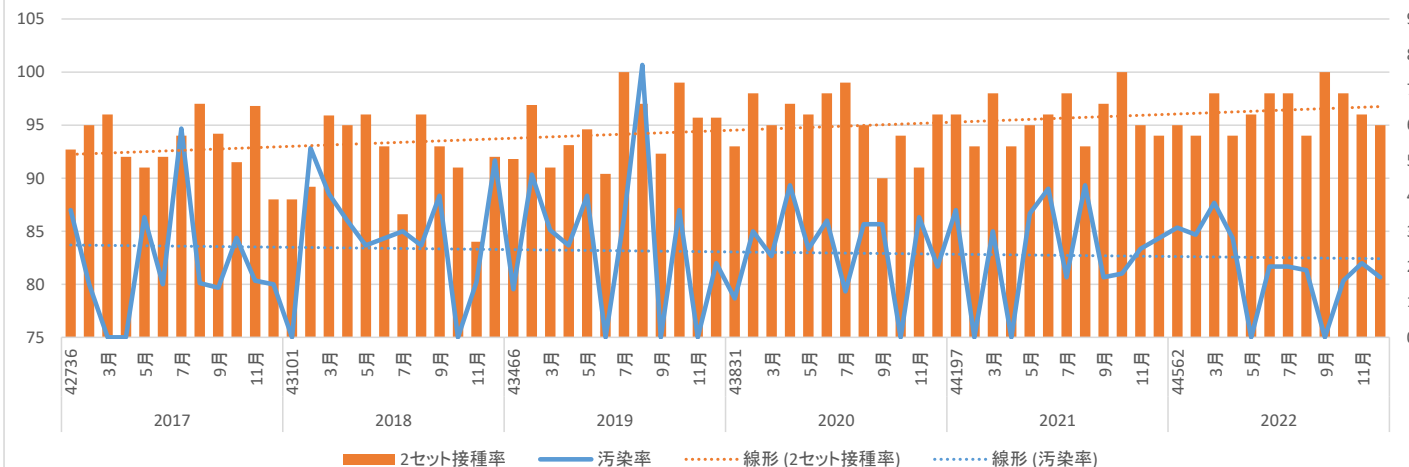
2023年3月
院内感染対策委員会



MBPキット使用率



血液培養汚染率、2セット接種率



【評価】

- ・4Fは著しく使用比が低下し感染も過去3年なし。6Fは使用比が減ったが感染が1件あった。7Fは使用比が昨年同様だったが感染は0件であった。
- ・血液培養2セット接種率は増加している
- ・血液培養の汚染率が低下している。
- ・MBPの使用率は89-92%。4Fは2021年10月18日からコロナ病床となり、CVC挿入は行っていない。